



江戸川区歌

岡 久美子 作詞
清水 保雄 作曲

Moderate

かぜもみどりの一か に あけ て一 かがやくあさのー た
い よ お にー そら も いら か も は れ わ た るー
き ほう の とーしよ わ がー さ と よ あ あ え ど が わ は あ
こ が れ のー ゆ め が た の し く わ く と こ ろ ー

江戸川区歌

(昭和40年9月制定)

岡 久美子 作詞
清水 保雄 作曲

- 一、風もみどりの 香にあげて
かがやく朝の 太陽に
空もいらかも 晴れわたる
希望の都市よ わがさとよ
ああ 江戸川はあこがれの
夢がたのしく わくところ
- 二、古き伝統 誇りつつ
時代をきずく 生産に
若い力が ほとばしる
伸びゆく都市よ わがさとよ
ああ 江戸川は躍進の
鐘高らかに なるところ
- 三、あすの榮えに 新しき
文化をかかげ とこしえに
自治と自由を もりあげる
平和な都市よ わがさとよ
ああ 江戸川は人の和の
花もあかるく 咲くところ

江戸川区歌は、昭和40年9月に制定されました。作詞は、全国から公募して選ばれた岡久美子さん。作曲は、清水保雄さんで、区の良き環境、職住近接のまち、良き住民性を歌っています。ふるさとの歌として、いつまでも歌い続けていきたいものです。

- 一番——晴れわたった空に
太陽がさんさんと輝き、みどり豊かな美しい町並みとそこに住む区民の心が、いつも楽しい夢にあふれている様子を描いています。
- 二番——幾多の苦難の時代を乗り越え、今やまちのあちこちには活力がみなぎっています。家庭と職場は近く、生きる価値を高める豊かなまちの息吹を表現しています。
- 三番——永い歴史から生み出された生活文化とお互いのしあわせを願う区民の心が一つとなり、みんなのふるさとにふさわしい、花のように明るく平和なまちになると歌っています。

江戸川区歌4番

～みんなで歌って、
オリンピック・パラリンピックを盛り上げよう！～

江戸川区では、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の気運を高めるため、江戸川区歌4番の歌詞を公募により作成しました。

区歌4番は、期間限定でイベントなどさまざまな機会に歌われています。



- 四、世界に挑む 若人が
陸と水とで 競い合い
日々の努力で 高めゆく
誇れる都市よ わがさとよ
ああ 江戸川は未来への
きらめく虹の 立つところ

